

本大会に参加される皆様へ

不要になった水着やチームウェア等がありましたら、回収にご協力ください。

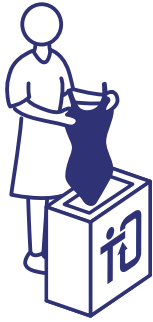
～ 未来へつなぐ、水着を泳縁（えいえん）に ～

日本水泳連盟では昨年4月から、衣類の循環で、「捨てない選択肢」を提供し、未来へつなげるプロジェクト『WEAR to FASHION』に賛同し、不要となった水着やチームウェア等を回収して、リサイクル、資源化に繋げる取り組みを行っております。資源を無駄にせず、ゴミを出さない、限りある資源を守る活動を水泳ファミリーから積極的に発信していきます。

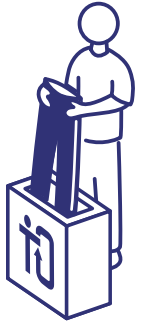
本大会でも会場内に回収ボックスを設置しております。皆様のご協力をお願いいたします。

公益財団法人日本水泳連盟

生涯スポーツ・環境委員会



# 水着やチームウェア等の 衣類回収活動を行っています！



今まで廃棄するしかなかった水着を中心に衣類の再資源化に取り組んでいます。  
不要なものがありましたら、ぜひ大会会場までお持ちください。  
一人一人の心がけが未来をつくれます！みんなの力で未来を変えていきましょう！

## WEAR FASHION

服の循環で、ファッションと地球の未来を作るプロジェクト



公益財団法人 日本水泳連盟  
Japan Swimming Federation



ECOMMIT

## 着なくなった水着の、新しい未来。

### 未来へつなぐ 水着を泳縁に

不要な衣類を回収する『Wear to Fashion』への参画について

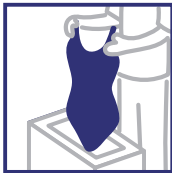
公益財団法人日本水泳連盟は、「スポーツによる社会貢献」を掲げ、水泳を通じた教育や環境問題等社会に貢献する幅広い活動を推進しています。活動の一環として、衣類の循環で「捨てない」選択肢を提供し、未来へつなげるプロジェクト“Wear to Fashion”に賛同し、水着やチームウェア等を回収してリユース・リサイクルに繋げる取り組みを行っております。

RECYCLE

REUSE

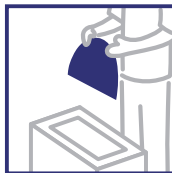
### 回収対象

SWIMWEAR



水着  
競泳水着

CAP



キャップ  
シリコンキャップ、  
メッシュキャップ

CLOTHES



衣類  
Tシャツ、  
インナー(アンダーシャツ)、  
ジャージ、ピステ、  
トレーニングウェア、パーカーなど

BAG



服飾雑貨  
バック(エナメル含む)、  
タオル、靴下など

- チーム名、学校名、個人名が入ったものはリユースされず、リサイクルされます。
- 洗濯して乾かしたものをお持ちください。
- ポケットの中などに貴重品がないかなどをご確認の上、お持ちください。
- 回収された商品の返却はいたしかねます。ご了承ください。
- 一部回収できないものもあります。ご了承ください。

## 2024年度 回収予定大会

大会名	日程	会場
第100回 日本選手権水泳競技大会 AS	5/3(金祝)~5(日祝)	東京アクアティクスセンター
第39回 日本マスターズ水泳選手権大会	7/3(水)~7(日)	東京アクアティクスセンター
日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2024	8/7(水)~9(金)	東京アクアティクスセンター
第47回 全国JOC「エブリビッド」夏季水泳競技大会 競泳	8/22(木)~26(月)	東京アクアティクスセンター
第69回 日本泳法大会	8/24(土)~25(日)	ひろしんビッグウェーブ
第100回 日本学生選手権水泳競技大会 競泳	9/5(木)~8(日)	東京アクアティクスセンター
水泳の日2024・北海道	9/22(日)	北海道立野幌総合運動公園プール
第100回 日本選手権水泳競技大会 OWS	9/28(土)~29(日)	千葉県館山市・北条海岸
第100回 日本選手権水泳競技大会 水球	10/12(土)~14(月祝)	新潟県立柏崎アクアパーク
第66回 日本選手権(25m)水泳競技大会 競泳	10/19(土)~20(日)	東京アクアティクスセンター
ジャパンオープン2024(50m)競泳	11/29(金)~12/1(日)	東京アクアティクスセンター
第100回 日本選手権水泳競技大会 競泳	2025/3/20(木)~23(日)	東京アクアティクスセンター
第47回 全国JOC「エブリビッド」春季水泳競技大会 競泳	2025/3/27(木)~30(月)	東京アクアティクスセンター
特別泳力検定会	2024年度実施会場にて	

活動の詳細、実施会場などの最新情報は  
日本水泳連盟の環境活動ページからご確認ください。



RECYCLE

## WEAR to FASHION

ファッション産業における大量廃棄は世界的な問題と捉えられています。日本でも、毎年約50万トンもの衣服が可燃ごみや不燃ゴミとして手放されています。これは、1日あたり1,300トン=大型トラック130台分にもなりますが、その中で再資源化されているのはわずか5%程度にとどまっています。

そこで、ファッションロス=衣類廃棄の問題に対する取り組みとして、2022年にWear to Fashion(ウェア・トゥ・ファッション)がスタートしました。

Wear to Fashionは、お客様から衣類を集め、リユースやリサイクルへ繋げる取り組みです。消費者が「捨てない」選択肢としてWear to Fashionに衣類を提供し、企業が責任を持って再利用や再資源化を図る。消費者と企業が一体となり捨てられる衣類を減らす試みです。

詳細はこちらから



### 回収の流れ



水着

キャップ

衣類

服飾雑貨

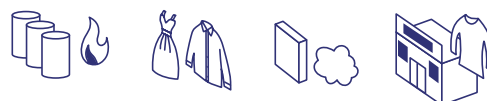
## WEAR to FASHION

お客様から衣類を集め、  
リユース・リサイクルへ繋がります。

サーマルリカバリー 水平リサイクル リサイクル リユース



ECOMMIT



固形燃料(RPF)等

繊維製品等

吸音材・断熱材等(反毛)

リサイクルショップ等

REUSE